# 公開実用 昭和63-100099

⑩ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭63-100099

SInt Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和63年(1988)6月29日

A 63 H 18/16 H 01 F 7/20

A-6935-2C Z-6447-5E

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称

電磁誘導レール玩具

②実 顋 昭61-196611

❷出 願 昭61(1986)12月21日

砂考 案 者

星 沢

幹 男

愛知県小牧市大字小牧2172番地の6

⑪出 願 人 有限会社 エヌ・ア

愛知県小牧市大字小牧2172番地の6

イ・エー

標

NO. 1

名称

職権 訂正

- 2. 実用新案登録請求の範囲 車の軌道 (1)の下に電線コイル (2)を複数個、 走行に支障がなく、均等間隔に付着、又は、付設
  - 定行に支障がなく、均等間隔に17省、入場、17以
- 3.考案の詳細な説明
  - (産業上の利用分野)
  - . この考案は、模型用のレールに関するもので
  - ある。
  - (従来の技術)
    - 従来の模型用レールには、軌道(1)に溝を掘る
  - 、若しくは、レールを張る。
    - そして、車(3)の部分に駆動装置が必要で
  - ある。
  - (考案が解決しようとする問題点)
    - 本考案は、車(3)を軌道(1)の上(レール上)
  - に乗せるのが容易になる.
    - そして、車(3)の駆動装置の変わりに永久磁

1089

## 公開実用 昭和63-100099

NO.2

石お付けるだけでよい。

(問題点を解決するための手段)

車(3)の軌道(1)の下に電線コイル(2)を複数個、走行に支障がないように付ける。

(作用)

電気の入り、切り、の操作を各電線コイル(2)が電磁石の低順次行う、そして電線コイル(2)が電磁石の役目をする。その電磁石の磁界が軌道(1)の上を移動する。故に、軌道(1)の上の車(永久磁石が付いた車(3))が軌道(1)に吸着して動く。

### (実施例)

この考案のいろいろな実施例を、図面を参照 しながら説明する。但し、電線コイル (2) は 4 個 で行います。

#### <u>第1実施例</u>

第 2 図は、軌道(1)の下に電線コイル(2)を 4 個、第 2 図のように付着する。そして、軌道(1)の上の表面を平にして、電線コイル(2)-1、(2)-2、(2)-3、(2)-4の順に、それから、電線コイル(2)-4、(2)-3、(2)-2、(2)-1の順に電気の入り、切



NO.3.

り、の操作を繰り返し行うと、軌道(1)の上に置いた車(永久磁石の付いた車(3))が電気の入り、切り、した電線コイル (2)の上を吸着して動く。

#### 第2実施例

第 3 図は、軌道(1)の下に電線コイル(2)を 4 個、第 3 図のように付着する。そして、軌道(1)の上を平にして、電線コイル(2)-1、(2)-2、(2)-3、(2)-2、(2)-4の順に、それから、電線コイル(2)-4、(2)-2、(2)-1の順に電気の入り、切り、の操作を繰り返し行うと、軌道(1)の上に置いた車(永久磁石の付いた車(3))が電気の入り、切り、電線コイル(2)の上を吸着して動く。

#### 第3実施例

第 4 図は、軌道(1)の下に電線コイル(2)を 4 個、第 4 図のように付着する。そして、軌道(1)の上の表面を平にして、電線コイル(2)-1、(2)-2、(2)-3、(2)-4の順に電気の入り、切り、の操作を繰り返し行うと、軌道(1)の上に置いた車(永久磁石の付いた車(3))が電気の入り、切り、



### 公開実用 昭和63-100099

No. 4

電線コイル(2)の上を吸着して動く。

(発明の効果)

車(3)の小型化、軽量化、簡素化が出来る。そして、軌道(1)の表面が平に出来るために、車(3)を上に置くだけでよい。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、電線コイル (2)を 2 種類 ((2)-A、(2)-B) 表します、そしてご第 2 図、第 3 図、第 4 図の図面の説明は、略図の電線コイル (2)-Cにて、表現します。上記に述べた電線コイル (2)-A、(2)-B、(2)-Cを斜視図である。

第2図、第3図、第4図は、それぞれこの考案の第1実施例、第2実施例、第3実施例の要部を示す斜視図である。

- (1)……軌道
- (2)……電線コイル
- (3)……車(永久磁石の付いた車)
- (4)……車の走路

実用新案登録出願人 有限会社 エヌ・アイ・エー 代表者 星沢 幹男

